



## EMSタイプの据付方法

### ■ EMSタイプの設置条件

EMSタイプは、正面上扉が手前に倒れます。  
前面から**最低でも500mm以上**はあけてください。



※土間や砂利など地面が不安定な場所や、  
高台、道路際などは設置に向いていません。  
必ず安定した地面に設置してください。

×良くない設置例



### ■ EMSタイプの設置注意点

EMSタイプは壁際にぴったりくっつけて設置可能です。  
ただし扉が奥へスライドして開口を保持する構造になりますので、  
奥行800mm以下の場所には設置出来ません。  
設置条件と合わせますと、**最低でも1300mm以上の奥行き幅が必要**となります。



1300mm以上の奥行き幅が必要です



### ■ EMSタイプの設置例



階段下にも設置できます



奥行きのある変形地に...

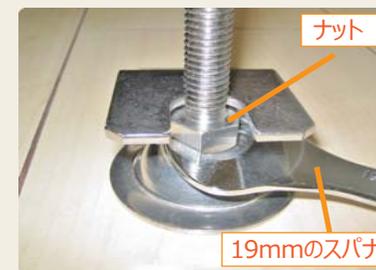


敷地いっぱいのボックスが置けます



固定工事完了後に、水平がずれて  
しまった場合などでも...  
⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで  
横からナットを回しながら、  
高さを調整してください。



ナット

19mmのスパナ



## ■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。  
アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、水平が出るように高さを調整してください。  
勾配が25mm以上の場合は、オプションのアジャストボルトをご使用ください。(※2ページ参照)  
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように調整します。



※前傾にし過ぎますと、スライド扉が自動的に下がってきてしまい、指等が挟まれる恐れがあるため危険です。  
水平器の目盛り内で合わせてください。

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。



◎正しい例

◎このナットの上に固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。  
(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、左の写真のように乗せてください。)



×悪い例

×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



固定金具の穴

ボックスの中心部

写真のように、②の固定金具に開いている穴を、ボックス内の中心部に向けて置きます。  
その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。  
地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。  
2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



打ち込み棒

アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。  
写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。  
(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、アンカーの↔の長さを調整してください。  
アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、打ち込み棒やハンマーなどでナット部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。  
ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。  
剥がしてかぶせてください。)